

気候情報

2013年1月の日本の天候

- 北日本から西日本にかけて低温
- 中旬に東日本と東北地方の太平洋側で大雪
- 太平洋側では日照時間がかなり多かった

1月の天気概況

日本付近は冬型の気圧配置となり、寒気の入る日が多く、月平均気温は北日本から西日本で低かった。北日本から西日本の日本海側では曇りや雪の日が多く、特に2日頃と25日頃に低気圧が日本付近を発達しながら通過した後は、冬型の気圧配置が強まり、大雪や暴風雪となった所があった。北日本から西日本の太平洋側では晴れの日が多く、月間日照時間はかなり多かった。13～14日に低気圧が発達しながら日本の南岸を通過したため、全国的に荒れた天気となり、東日本や東北地方の太平洋側では平地でも積雪となり、横浜市で13 cmの積雪となるなど大雪となった所があった。沖縄・奄美では、前半は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れる日もあり、天気は数日の周期で変わった。

上旬：冬型の気圧配置となる日が多く、北日本から西日本の日本海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。特に、2日頃に低気圧が発達しながら北日本を通過した後は、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、日本海側では大雪や暴風雪となった所があった。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雨の日が多かった。北日本中心に強い寒気の影響を受けたため、北日本の旬平均気温は平年より3.3℃低く、1月上旬としては1985年以來の顕著な低温となった。

中旬：期間のはじめは高気圧に覆われて全国的に晴れた所が多かった。13日～14日に低気圧が急速に発達しながら日本の南岸を通過したため、全国的に荒れた天気となり、東日本や東北地方の太平洋側では平地でも積雪となり、横浜市で13 cmの積雪となるなど大雪となった所があった。その後は冬型の気圧配置の日が多く、日本海側では曇りや雪または雨、太平洋側では概ね晴れた。沖縄・奄美では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日もあった。

下旬：期間の前半は本州付近を通過した低気圧や気圧の谷の影響で、東日本以西で曇りや雨の日が多く、北日本は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。25日

頃に低気圧が発達しながら北日本を通過した後、北日本中心に冬型の気圧配置が続いた。このため期間の後半は、北日本や東日本以西の日本海側では曇りや雪の日が多く、大雪や暴風雪となった所があったが、期末は高気圧に覆われ晴れた。東日本以西の太平洋側では概ね晴れたが、上空に強い寒気を伴った気圧の谷の通過で一部で積雪となった。沖縄・奄美では、気圧の谷や寒気の影響と高気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わった。

1月の気候統計

月平均気温：北日本から西日本にかけて低く、北日本では平年を1℃以上下回った。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北日本太平洋側、西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側、東日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北日本から西日本にかけての太平洋側でかなり多く、北日本から西日本にかけての日本海側で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

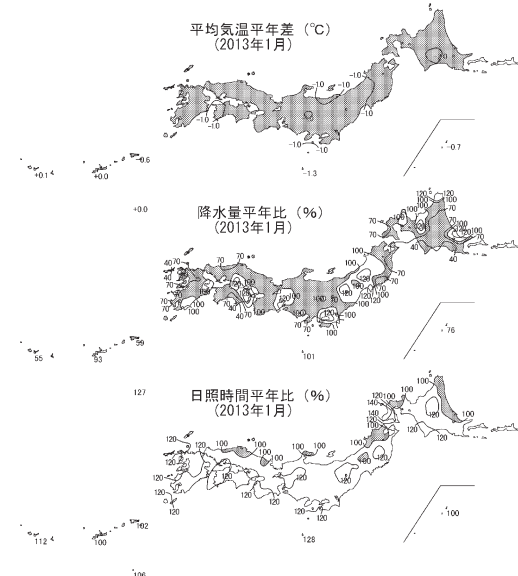
(気象庁観測部情報管理室)

1月の記録(1位更新のみ)

・月間日照時間多い方から(時間)

若松 108.3 名古屋 209.7

2013年1月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。